

表彰と評価

社内表彰

環境会長賞(Chairman's Environmental Award)プログラム

環境会長賞プログラムは、IBM の各組織における環境問題でのリーダーシップを奨励し、この問題での業績と成果を表彰するため、1991年に創設されました。

2008年のこのプログラムは、過去2年間と同様、専らエネルギー節約とエネルギー効率に重点に、主要事業部門の間で競争が行われました。受賞者は、エネルギー節約とエネルギー効率の分野におけるプログラムやイニシアチブに関するリーダーシップ、成果、イノベーション、とその統合力を基準に選定され、IBMのグローバル・テクノロジー・サービス(GTS)が、2008年IBM環境会長賞を受けました。



(左から右へ)IBM 会長 Sam Palmisano が、グローバル・テクノロジー・サービスのシニア・バイス・プレジデント Mike Daniels に 2008 年 IBM 環境会長賞のトロフィーを授与。

ほとんどのデータセンターはドット・コム時代が始まる前に構築されたもので、今では技術的に最新ではなくなってきています。GTS は、お客様の新たなニーズに対応するべく迅速に行動を起こし、既存の IT 施設の評価と拡張を行うとともに、運用が容易で、コスト負担が少なく、環境への影響も少ない、新たな効率の高い IT の導入を行いました。多数のお客様での実経験を通じて、GTS は、お客様の個別のニーズに対応したエネルギーおよび環境に配慮したインフラストラクチャーを設計する方法について、理解を深めてきました。GTS は、エネルギー節約と持続可能性を求めめるお客様のニーズに対応するエネルギー効率の高い運用と、サービスのメニューの拡張を重視することで大きな実績を上げてきました。GTS が提供するサービスとお客様へのメリットの例を次に示します。

- IBM データセンター・ファミリーは、中小企業から大企業まで、用途に合わせたモジュラー型のデータセンターで、既存のデータセンターと比較してエネルギー効率が最大 50%向上しています。
- データセンター関連のアセスメント・サービスでは、既存データセンターの年間エネルギーを 15～40%節約することができます。
- サーバー・ストレージ最適化・統合サービスは、エネルギー節約も含め、全体的な運用コストを大幅に節約することができます。
- クライアント環境仮想化サービスでは、エネルギー効率の良くない PC の利用を新たなシンクライアント端末としての利用に限定し、総所有コストを節約します。

- **マネージド・ビジネス・プロセス・サービス**(IBM 他チームと協働)では、スウェーデンのストックホルム向けに革新的な交通渋滞課金システムを開発することで、交通量を18%削減し、環境を改善するだけでなく、市内への交通状況を改善することに貢献しました。

GTS が所有または管理するデータセンターの数は、世界最多です。IBM の IT の改善だけを考えても、GTS は、経費を節約し、エネルギー消費を削減し、利用率の改善する多数の効率的なデータセンターの構築を主導してきました。以下に具体例を示します。

- IBM 全体のサーバー・インフラストラクチャーの 25%を仮想化し、エネルギー使用を 80 パーセント、フロア・スペースを 85%削減するため、IBM の社内プロジェクトであるエンタープライズ・コンピューティング・モデル (ECM) プロジェクトが現在進行中です。
- IBM の戦略的アウトソーシングにより、コロラド州ボルダーに北米で「最もグリーン」なデータセンターを立ち上げました。GTS はまた、Leadership Data Center (LDC) プログラムを昨年開始し、その最初の施設として 5600 平方メートル (6 万平方フィート) を占め、9300 平方メートル (10 万平方フィート) まで拡張可能なノースカロライナ州ラーレーの LDC 施設の設計に取りかかりました。この施設はエネルギー効率を示すデータセンター・インフラストラクチャー効率 (DCiE) が 71%と、業界平均の 43%を大きく上回り、エネルギー効率面での最優良事例となるものです。
- **ビジネス・コンティニューイティエー&レジリエンシー・サービス**は、3 億ドルを投資して 10 カ国にビジネス・レジリエンス・サービス・デリバリーセンターを 13 カ所新たに建設することを発表しました。この投資により、企業や政府の間で急増している災害対策の需要への対応能力が強化されます。

エネルギー、環境、持続可能性に関する問題や機会は、世界中のどの個人や企業にも例外なく影響を与えています。GTS は、技術を活用し、ビジネス・プロセス戦略を実現、実行することで、これらに対応しています。

社会の評価

IBM の環境面でのリーダーシップとその多大な成果は、2008 年、多方面で高い社会的評価を受けました。その例をいくつか紹介します。

- CERES (Coalition for Environmentally Responsible Economies) およびその投資家ネットワークによって発表された企業気候変動ガバナンス実践に関するレポートで、IBM は第 1 位にランクされました。このレポートは、11 業界の世界的な大手企業 63 社の気候変動実践を分析したものです。RiskMetrics が CERES との共同で開発した枠組みを利用して、対象企業の気候変動への対応に対する、取締役会による管理、マネジメントの実行、社外への開示、温室効果ガス排出の算出、戦略計画および成果が評価されました。
- IBM は、ClimateCounts から、気候変動における企業リーダーシップの電子産業部門第 1 位に再びランクされました。
- IBM は、ゴールドマン・サックスのレポートおよびランキング「GS SUSTAIN」において、「キャッシュ・リターン、産業構造内ポジション、環境、社会、ガバナンスパフォーマンス面の組み合わせで、競争上の優位性を持続し得るベスト・ポジションの企業」と評価されました。技術ハードウェア・電気電子産業の中でこの評価を受けた企業は、当社を含め 5 社のみです。

- 日本 IBM は、2008 年 3 月、東京都から、六本木本社および箱崎事業所の地球温暖化対策で、AA+ の格付けを受けました。
- IBM は、「太陽電池パネル向けシリコン・リサイクル」のイニシアチブに対して、ECOFIRA イノベーション・アワード 2008 (ECOFIRA Innovation 2008 Award) を受賞しました。この賞は、スペイン最大クラスの環境関連産業イベントの ECOFIRA で、授与されました。このウェハーのモニター・リサイクル・プロセスはまた、環境優秀&公害防止バーモント州知事賞 (Vermont Governor's Award for Environmental Excellence & Pollution Prevention) を受賞しました。
- IBM は、Working Mother 誌から、アメリカの子どもたちのための最もグリーンな企業 (Best Green Companies for America's Children) の 1 つに選ばれました。
- IBM は、英国 Business in the Community の環境インデックスで、再び「ゴールド」レベルにランクされました。IBM は、91.81% のスコアを獲得し、ゴールド・レベルの成績 (90~95%) を維持しました。また、IBM は、業界内でも 1 位となっています。
- IBM は、Corporate Knights 誌が毎年作成するカナダ上位企業市民リストの第 7 回 Annual Best 50 Corporate Citizens in Canada で、リストのトップを飾りました。IBM の KPI (Key Performance Indicators) スコアは最上位となり、商品のエネルギー効率、エコ・ソーシャル製品イノベーション、持続可能な開発面で先進的な商品割合、発展途上国への積極的な技術移転でも最上位のスコアを得ました。
- IBM は、再び The Green500.org が公表するスーパーコンピューターの「グリーン 500 リスト」の最上位に位置づけられました。エネルギー効率ランキング最上位の少なくとも 15 システムを、IBM の高性能コンピューティング技術に基づいたスーパーコンピューターが占めました。
- IBM は、2008 Sustainable Business 20 (SB20) List の世界最上位持続可能株式銘柄に入りました。SB20 List は、社内運営のグリーン化または重要なグリーン技術に基づいたビジネスの拡大を通じて持続可能な社会への道を開いている公開企業 20 社を選んだリストです。
- IDG の Computerworld によって、IBM は、2008 年の「トップ・グリーン IT 企業」に選ばれました。この栄誉は、Computerworld が初めて実施したトップ・グリーン IT 企業特集の一部でした。
- IBM は、オーストラリアの St. James Ethics Centre が実施する 2008 年コーポレート・レスポンスビリティ・インデックスで、ゴールドの格付けを受けました。このインデックスは、株主、顧客、従業員、一般コミュニティ、環境を含む幅広い利害関係者への責任を認識し、それを実行している企業を明らかにするものです。
- IBM グアダハラは、メキシコ環境保護連邦検察庁 (PROFEPA) から、環境優秀賞 (Environmental Excellence Award) を受けました。この賞は、企業に与えられるメキシコで最高の環境表彰です。
- ニューヨーク州ウェストチェスターにある IBM サイトは、単独での乗用車通勤の削減を従業員に奨励し、クリーンな空気を目指していることが評価され、4 つの賞を受けました。IBM は、MetroPool からアースデイの運動「Race to the Finish」への参加を讃える 3 個の賞が贈られ、Clean Air NY からは、他の 7 組織と共にクリーン・エアー NY チャンピオンに選ばれる栄誉を得ました。
- ノースカロライナ州の IBM リサーチ・トライアングル・パーク (RTP) は、ダラム郡の「通勤削減」プログラム

への貢献に対して、通勤者リーダーシップ賞大企業部門 (Commuter Leadership Award—Large Company) を受けました。 RTP による在宅勤務、バン・プール、カー・プール、自転車施設、SmartCommute への支援が評価されたものです。

- フランスの IBM モンペリエは、モンペリエ都市圏、モンペリエ交通公社、French Department Agency for Environmental Protection から、最も「エコ・モバイル」な企業として 2008 年の最初のトロフィーを授与されました。
- テキサス州の IBM オースチンは、2008 年グレーター・オースチン環境業績ビジネス賞 (Greater Austin Business Award for Environmental Achievement) の大企業部門を受賞しました。 オースチン商工会議所が主催するこの賞には、200 社近い企業が 7 つの領域で申請を行いました。 IBM オースチンのエネルギー節約、固形廃棄物のリサイクル、天然資源の保護における継続的な努力とその成果は、コミュニティ全体で以前から高い評価を受けています。
- IBM アイルランドは、アイルランド商工会議所会長賞を 2 個授与されました。 IBM がサプライ・チェーン部門で受けたこれらの賞は、最も革新的な CSR プロジェクトおよび多国籍企業による市場最優良サプライヤー・プログラムに対するもので、「中空緩衝材プロセス」と消費者、環境、企業の費用を削減する技術革新が評価されました。
- バーモント州の IBM バーリントンは、2 つの 2007-2008 年環境優良 & 公害防止バーモント州知事賞 (Vermont Governor's Awards for Environmental Excellence & Pollution Prevention) を受けました。「IBM の廃水処理施設における処理能力最適化および拡大」(環境優良—環境配慮および資源保護部門) と「半導体製造事業で使用される緩衝酸化エッチング剤中での PFOS (パーフルオロオクタンサルホン酸) の排除」(環境優良—公害防止部門) が評価されました。 この受賞により、IBM は、賞の創設から 15 年間、これらの賞の少なくとも 1 つの表彰を毎年連続で受けたことになります。